



## 審査講評

今回のリノベーションアイデアコンペは、築 50 年以上が経過し新規入居者の獲得が難しくなっている「大利根公社賃貸住宅」の 1 室を大学・専門学校・高等学校の建築系、住居系に在籍する学生を対象としたコンペです。学生ならではの視点や自由な発想で、現代のライフスタイルやニーズに合った幅広い年代の方々に支持される改善のアイデアを問うコンペでした。

最優秀賞の「オシイレ分解！」は、高度経済成長期の住宅の大量供給を目的とした標準設計に組み込まれた「押し入れ」に着目し、分解・分散・組み換えを行うことで新たな収納のあり方について提案をするものでした。団地の分析考察も細部まで検討されており、そこから導き出された新たな部屋の使い方についての提案が高く評価されました。

優秀賞の「ゆとりある団地生活～暮らしに合わせた土間の使い方～」は、室内に大きく土間スペースをとり、非日常的な空間を演出する作品でした。土間スペースやバルコニーテラスとリビングダイニングとの繋がりで空間の広がり確保し、日常の中にゆとりを持たせる工夫が感じられる作品でした。

住宅供給公社が実施するアイデアコンペは今回で 2 回目となります。応募作品からは、学生の皆さんの自由な発想や数々の斬新なアイデアをご提案いただき、大変有意義なものになりました。最優秀賞の作品については事業性等を十分に勘案した上で、実施設計を行いモデル住宅として整備していく予定です。

最後になりましたが、本コンペにご応募いただいた学生の皆さんに厚く御礼を申し上げますと共に、更なる飛躍と発展を祈念し、講評といたします。